

が良く、温度を 70°C に一定して時間を變えた實驗では 5 時間附近が最も良い。之等綜合すれば楨皮原料に於ては 65°C~75°C にて 6 時間~4.5 時間の抽出は概して良好なる Gelatin を得ることゝなつた。

緒 論

以上の如き諸點に留意して楨皮より Gelatin を抽出製造した結果を見ると寫眞用 Gelatin として市販せられてゐる獨逸製 Gelatin (D. G. F) に比し一般物理化學性に何等遜色の無いと思料せられるものが出來た。併し以上は全く基礎的條件の一部に過ぎない實驗例であり、更に多くの研究すべき問題があり且又寫眞用 Gelatin としては實際に自ら寫眞乳劑を處法して適不適を試驗すべきでこれ等の事は今後逐次報告せんとするものである。

(13) 榛子 (オホハシバミ) の子實油に就て

林 耀 堂

榛 (オホハシバミ, テウセンハシバミ, オヒヨウハシバミ) *Corylus heterophylla* FISCHER EX BESSER は東部シベリヤ, 滿洲, 朝鮮中華民國に廣く分布してゐるカバノキ科の落葉灌木である著者は興安東省産の榛子より子實油を得、之を分析して次の結果を得た。

子實： 水分 5.5%, 灰分 3.82%, 油脂含有量 48.3%

子 實 油 の 性 狀

		冷 壓 油	エーテル抽出油
比 重		$d_4^{20} = 0.9155$	$d_4^{20} = 0.9172$
屈 折 率		$n_D^{20} = 1.4711$	$n_D^{20} = 1.4711$
エ ン グ ラ ー 度		10.72 (20°), 6.99 (30°), 3.63 (50°)	10.77 (20°)
酸 價		4.32	2.10
鹼 化 價		199.74	196.91
沃 素 價 (Wij's 氏法)		98.80	99.80
ロ グ ソ 價		72.51	75.79
ライヘルト・マイルス價		1.02	0.54
不 鹼 物		0.8%	

脂肪酸の性状： 上記冷壓油より常法によつて得た混合脂肪酸及びこれを鉛鹽アルコール法によつて室温 10° にて分離した固體脂肪酸部分液體脂肪酸部分及びそのメチルエステルの性状は次表の通りである。

	比 重 d_4^{20}	屈折率 n_D^{20}	中 和 價	沃 素 價 (Wijs氏法)	ロダン價	鹼 化 價
混 合 脂 肪 酸	0.8583	1.4629	194.81	98.3	78.5	—
固 體 脂 肪 酸	—	—	190.24	77.7	68.5	—
液 體 脂 肪 酸	0.9004	1.4633	206.05	105.1	79.9	—
固體脂肪酸メチルエステル	0.8771	1.4512	—	74.9	67.7	202.5
液體脂肪酸メチルエステル	0.8844	1.4557	—	101.3	74.1	197.1

尚混合脂肪酸の六臭化物價は 0 であり飽和酸成分としてパルミチン酸とステアリン酸を單離した。

固體脂肪酸部分の分溜： 固體脂肪酸メチルエステル 20g をとつて分溜した結果は次表の通りである。

溜 分	溜出溫度 °C/0.03mmHg	收 量 g.	屈 折 率 n_D^{20}	比 重 d_4^{20}	沃 素 價 Wijs氏法	ロダン價	鹼 化 價	外 觀
(1)	~126	1.6	—	—	36.2	36.0	213.00	白色結晶
(2)	126~127	2.8	1.4490	0.8735	43.5	57.7	205.04	白色結晶
(3)	127~132	2.7	1.4504	0.8739	71.5	68.5	203.84	無色液體
(4)	132~135	6.2	1.4515	0.8747	80.4	77.2	196.89	無色液體
(5)	135~138	3.9	1.4518	0.8749	81.5	77.5	197.30	無色液體
(6)	138~141	1.5	1.4521	0.8764	57.3	76.3	188.98	淡黄色液體
殘留物		1.0						淡褐色液體

液體脂肪酸部分の分溜： 液體脂肪酸メチルエステル 100g をとつて分溜した結果は次表の通りである。

溜 分	溜出溫度 °C/0.05mmHg	收 量 g	屈 折 率 n_D^{20}	比 重 d_4^{20}	沃 素 價	ロダン價	鹼 化 價	外 觀
(1)	~132	0.7	1.4485	—	60.5	47.7	277.50	淡黄綠色液體
(2)	132~143	12.4	1.4532	0.8790	94.5	76.2	201.09	無色液體
(3)	143~146	34.6	1.4541	0.8766	102.0	82.7	195.38	無色液體
(4)	146~150	35.5	1.4543	0.8793	107.6	82.6	198.23	無色液體
(5)	150~160	1.7	1.4573	0.8932	97.7	83.3	202.93	淡黄綠色液體
(6)	160~	1.9	1.4638	0.9207	76.3	56.5	208.00	黄綠色液體
殘留物		5.9						褐色粘稠液體

尚本研究は終始研究官有馬純三博士の御懇なる指導によつてなされたもので茲に同博士に對し衷心より深謝致します。